

5. 看護の統合と実践

<考え方>

統合分野では、基礎分野・専門基礎分野、専門分野Ⅰ及びⅡの学習を、臨地に近い形で学習し、知識・技術を統合する。在宅看護論では、地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。看護の統合と実践では、看護管理、医療安全、災害看護、国際看護という、より臨床を意識した内容を学ぶ。また、臨地実習では、専門分野での実習を踏まえ実務に即した実習を行うとともに、卒業時看護技術到達度に向けて、自己の看護技術について評価できる能力を身につける。

<目的>

看護の専門的知識・技術・倫理観を統合し、臨地に応じた看護の実際を学ぶ。

<目標>

1. 対象を統合体として理解する。
2. 保健・医療・福祉における看護の機能と役割を幅広い視点で理解する。
3. 既習の知識を統合させ、応用的視点で活用する。
4. 科学的根拠に基づいた看護実践能力を強化する。
5. 看護観を深め、自己の看護観を確立する。

1) 科目一覧

分 野		学 科 目 名	時期	単位数	時間
看護の統合と実践	在宅看護論	在宅看護概論	2 年次前期	1	30
		在宅看護実践論Ⅰ	2 年次前期～後期	2	30
		在宅看護実践論Ⅱ	2 年次前期～後期	1	30
		在宅看護論学科合計 (4)		4	90
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2 年次後期	1	30
		看護の統合と実践Ⅱ	3 年次後期	1	30
		看護の統合と実践演習Ⅰ	2 年次後期	1	30
		看護の統合と実践演習Ⅱ	2 年次後期	1	15
		看護の統合と実践演習Ⅲ	3 年次後期	1	30
		看護の統合と実践演習Ⅳ	3 年次後期	1	30
		看護理論演習	3 年次後期	1	15
		統合科目学科合計 (4)		7	180
	臨地実習	在宅看護論実習	3 年次前期～後期	2	90
		看護の統合と実践実習	3 年次後期	2	90
	統合分野臨地実習合計 (4)			4	180
	統合分野合計 (12)			15	450